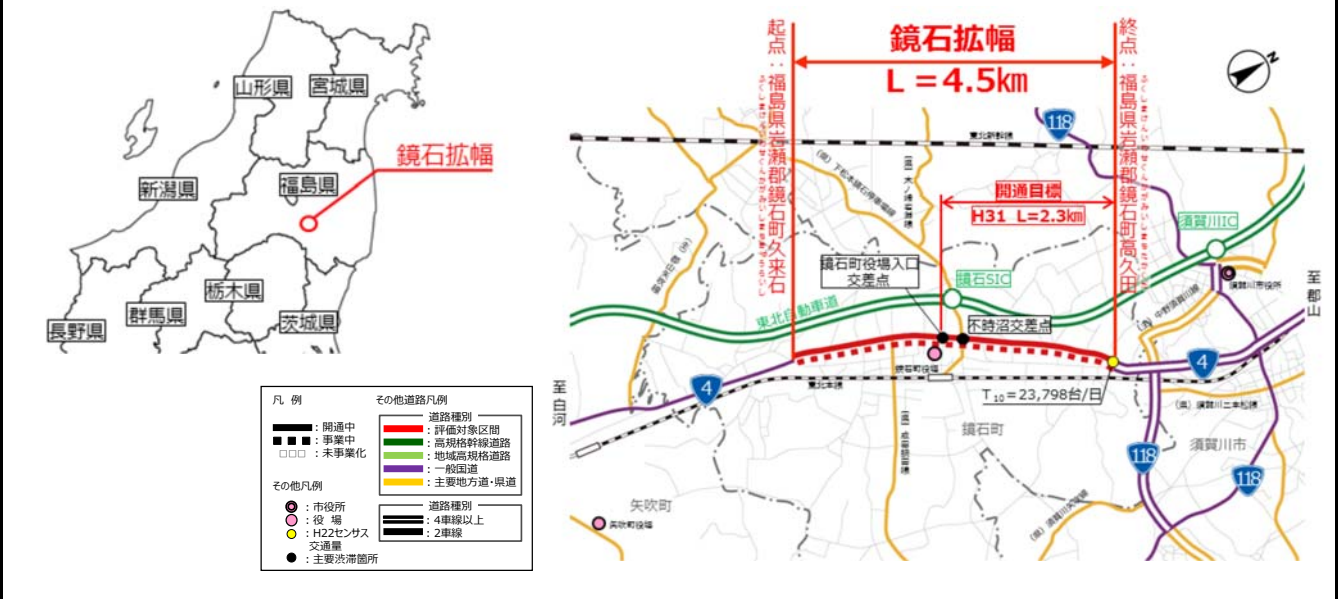


再評価結果（平成29年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課
担当課長名：川崎 茂信

事業名 一般国道4号 鏡石拡幅	事業区分 一般国道	事業主体 国土交通省 東北地方整備局
起終点 自：福島県岩瀬郡鏡石町久来石 至：福島県岩瀬郡鏡石町高久田	延長 4.5 km	
事業概要 一般国道4号は、東京都中央区から青森県青森市に至る延長約889kmの主要な幹線道路である。 鏡石拡幅は、岩瀬郡鏡石町久来石から同町高久田に至る延長4.5kmの4車線道路である。		
H15年度事業化		H15年度都市計画決定
H19年度用地着手		H21年度工事着手
全体事業費 112億円	事業進捗率 72%	供用済延長 0km
計画交通量 33,000台/日		
費用対効果分析結果	総費用 (残事業)/事業全体 33億円/132億円 事業費：21億円/120億円 維持管理費：12億円/12億円	総便益 (残事業)/事業全体 334億円/334億円 走行時間短縮便益：307億円/307億円 走行経費減少便益：19億円/19億円 交通事故減少便益：7.7億円/7.7億円
B/C (事業全体) 2.5 (残事業) 10.1		基準年 平成28年
感度分析の結果 【事業全体】交通量変動：B/C=2.4~2.6(交通量±10%) 事業費変動：B/C=2.5~2.6(事業費±10%) 事業期間変動：B/C=2.4~2.6(事業期間±20%) 【残事業】B/C=9.5~10.3(交通量±10%) B/C=9.5~10.7(事業費±10%) B/C=9.8~10.4(事業期間±20%)		
事業の効果等 ①円滑なモビリティの確保 ・主要渋滞箇所である不時沼交差点の旅行速度の改善が期待される(16.3km/h→25km/h) ②安全な生活環境の確保 ・沿線に立地する鏡石第一小学校への通学路の安全が確保される ③災害への備え ・東北縦貫自動車道(矢吹IC~須賀川IC)が通行止めとなった場合の代替路としての機能を強化		
関係する地方公共団体等の意見 ○福島県知事の意見 国の対応方針(原案)については、異議はありません。 なお、東日本大震災からの復興を支援するため、早期完成に努めてください。 ○以下の団体等から、鏡石拡幅の整備促進について要望あり ・郡山地域道路整備促進期成同盟会 ・一般国道4号4車線整備促進期成同盟会 ・白河国道4号4車線化整備促進活動期成会		
事業評価監視委員会の意見 対応方針(原案)どおり「継続」が妥当である。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ・この事業の目的が失われるような道路交通状況の変化及び関連プロジェクト等の変更はない。		
事業の進捗状況、残事業の内容等 ・平成15年事業化、事業進捗率72% うち用地進捗率97%(平成28年3月末時点)		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 ・事業の進捗に係る問題はない。		
施設の構造や工法の変更等 ・現況施設の健全度調査により既存の側溝・舗装の再利用を図り、コスト縮減を図る。		
対応方針 事業継続		
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。		

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。